

# 令和6年度JICA研修「消防・防災」 開講式・副市長表敬を行います！

～北九州市消防局の知識・技術を世界へ～

このJICA研修「消防・防災」は、国際協力事業として総務省消防庁、独立行政法人国際協力機構(JICA)及び北九州市消防局の3者が連携し、研修員の自国における防災対応力の強化や経済発展、福祉の向上を目指す取組みで、昭和63年から実施し、これまで87の国と地域から301人の研修員を受け入れ、今年で35回目となります。当局のほか、大阪市消防局が平成10年から「救急・救助」コースを実施しており、消防に関連する研修は全国でもこの2都市に限られます。

令和6年度の研修では、11の国と地域から選ばれた11人の研修員（開発途上国の指導的立場にある消防官）が、本市に集まり、訓練・研修を受けます。

約2か月の研修期間で消防や防災に関する専門的な知識はもちろん実技訓練など幅広く学ぶことができるものとなっています。

過去に受講した研修員の中には、「消防署がない地域に新たに消防署を建てる」というアクションプランを作り、帰国後、実現に向けて取り組んだところ「無事に完成した」との報告を受けるなど、北九州市で学んだ知識や技術が世界中に広まっています。

つきましては、本事業を実施するにあたり、「開講式」及び「副市長への表敬訪問」を下記のとおり行います。

また、主な訓練や講義について、別紙にてご紹介いたしますので、ぜひ取材方よろしくお願いたします。

## 1 開講式

日時：令和6年9月18日（水）10時30分から11時30分まで  
場所：訓練研修センター 別館3階大研修室

## 2 JICA研修員による江口副市長への表敬訪問

日時：令和6年9月27日（金）11時30分から11時50分まで  
場所：北九州市役所本庁舎 5階プレゼンルーム



問い合わせ先

消防局総務部訓練研修センター 訓練研修係

担当者：山下・河崎 TEL:093-592-5580 FAX:093-592-5590

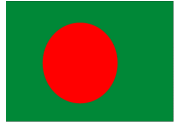
## 1 JICA 研修「消防・防災」開講式

### ■ 日時・場所

令和6年9月18日（水）10時30分～11時30分  
 訓練研修センター 別館3階大研修室  
 （北九州市小倉北区東港一丁目2番5号）

### ■ 出席者・参加者数

- ・独立行政法人国際協力機構（JICA）九州センター所長
- ・総務省消防庁国民保護・防災部 国際協力官
- ・消防局総務部長
- ・JICA 研修員（11の国と地域11人）



バングラデシュ人民共和国



ブラジル連邦共和国



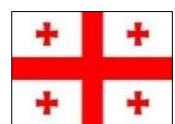
カンボジア王国



ジブチ共和国



フィジー共和国



ジョージア



モルディブ共和国



モルドバ



モンテネグロ



パレスチナ



南スーダン共和国

### ■ 内容・次第

開講式は、各国の国歌を北九州市消防音楽隊が生演奏する中、カラーガード隊が各国の国旗旗手として入場し、その後、各研修員の紹介を行います。

- (1) 研修員入場
- (2) 各国の国旗旗手入場
- (3) 北九州市消防局予防部長 挨拶（山本 <sup>やまもと</sup> 芳昭 <sup>よしあき</sup>）
- (4) 独立行政法人国際協力機構 九州センター所長 挨拶（吉成 <sup>よしなり</sup> 安恵 <sup>やすえ</sup> 様）
- (5) 総務省消防庁 国民保護・防災部 国際協力官 挨拶（遠藤 <sup>えんどう</sup> 崇 <sup>たかし</sup> 様）
- (6) 研修員紹介・研修員代表挨拶
- (7) 記念撮影

## 2 JICA 研修員による副市長への表敬訪問

### ■ 日時・場所

令和6年9月27日（金）11時30分～11時50分  
 本庁舎5階 プレゼンルーム  
 （北九州市小倉北区城内1番1号）

### ■ 出席者・参加者数

- ・北九州市副市長
- ・独立行政法人国際協力機構（JICA）九州センター所長
- ・消防局長
- ・JICA 研修員

### ■ 内容・次第

- (1) 列席者紹介
- (2) JICA 研修員紹介（各研修員が日本語で自己紹介）
- (3) 独立行政法人国際協力機構（JICA）九州センター所長 挨拶
- (4) JICA 研修員代表 挨拶
- (5) 江口副市長 挨拶
- (6) 記念品贈呈
- (7) 歓談
- (8) 記念撮影



写真：令和4年度稲原副市長表敬

### 3 建物火災における消火活動要領

#### ■ 日時・場所

令和6年10月1日(火) 9時00分～16時00分  
訓練研修センター  
(北九州市小倉北区東港一丁目2番5号)

#### ■ 見どころ

基本的な消火技術や消火活動に必要な物理や化学の基礎知識を学んでもらうとともに、本市の消防活動要領を座学及び訓練を行うことで習得してもらいます。

本市の消火活動要領や訓練方法などは、過去の研修員からのニーズも高く、JICA研修「消防・防災」の中でも中心となる研修の一つです。



### 4 HUG (避難所運営ゲーム)

#### ■ 日時・場所

令和6年10月9日(水) 13時00分～16時00分  
JICA九州センター  
(北九州市八幡東区平野二丁目2番1号)

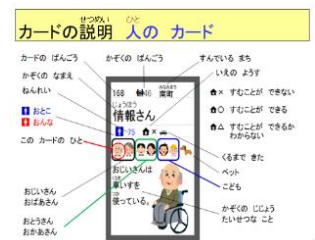
#### ■ 見どころ

大規模災害時の応急対策活動の中でも特に重要なものの一つが避難所運営です。HUGは「H (Hinanzyo 避難所)」、「U (Unei 運営)」、「G (Game ゲーム)」の頭文字を取ったものです。また、「HUG」には英語で「抱きしめる」という意味があり、「避難者を優しく受け入れる」といったイメージと重ね合わせて命名されました。

避難者の年齢、性別、国籍などそれぞれが抱える事情が記載されたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験するゲームです。

研修員各国の避難所運営についてディスカッションした後に、実際にHUGを行い本市の避難所運営を体験してもらいます。

今回は、外国人の方でも分かりやすいイラストが入ったカードを使用します。



### 5 DIG (災害図上訓練)

#### ■ 日時・場所

令和6年10月10日(木) 13時00分～16時00分  
JICA九州センター  
(北九州市八幡東区平野二丁目2番1号)

#### ■ 見どころ

DIGは「D (Disaster 災害)」、「I (imagination 想像力)」、「G (Game)」ゲームの頭文字を取って命名されました。DIGは「災害を理解する」「まちを探求する」「防災意識を掘り起こす」という意味が込められた防災力を高める方法です。

この研修は、研修員が寄宿している「JICA九州センター付近で災害が起こったら」という想定でDIGを行います。また、自国の防災力を向上するために研修員それぞれがDIGを行えるようにするのが目的です。



## 6 泡消火剤による消火技術

### ■ 日時・場所

令和6年11月6日（水）9時00分～12時00分  
訓練研修センター  
（北九州市小倉北区東港一丁目2番5号）

### ■ 見どころ

昨年、戦禍の中にあるウクライナに、本市を含む産学官で開発された環境に優しい消火剤が送られました。この消火剤は、天然由来の石けんが主成分で少ない水で素早く消火でき、人の体や環境に優しいのが特徴です。

研修の中で、実際に木材を燃焼させ、泡消火剤と水の消火能力の違いを体験してもらいます。



## 7 救急法及び救急講習（研修員による北九州市立大学留学生への救急指導）

### ■ 日時・場所

令和6年11月15日（金）14時00分～15時30分  
北九州市立大学 ひびきのキャンパス  
（北九州市若松区ひびきの1番1号）

### ■ 見どころ

救急法について1日学んだ後、北九州市立大学の留学生を対象とした救急講習を行います。講師は研修員が務め、留学生に心肺蘇生法を指導します。

救急法を学び自国に持ち帰ることはもちろんですが、留学生に心肺蘇生法を指導することで、北九州市の救命率向上にも寄与します。

言語の通じる留学生と楽しく交流する研修員の姿がとても印象的です。



## 8 総合訓練展示

### ■ 日時・場所

令和6年11月21日（木）15時00分～16時00分  
訓練研修センター  
（北九州市小倉北区東港一丁目2番5号）

### ■ 見どころ

JICA研修「消防・防災」の消防に関するカリキュラムの集大成として、研修員による総合訓練展示を行います。

この訓練では、火災を想定し、研修員が指揮者として複数の隊の指揮をとり、また、救助隊長として火災建物の中に取り残された人の救助などを行います。

